

委員質問・意見書

(7月12日) 受付分

(宮崎委員)

● 東京電力HD に対する 質問

1. 7月4日東電が高桑さんの質問に回答した「マンメイドロック」について伺います。

私は「マンメイドロック」は建屋直下の断層調査で掘った調査溝を埋めたという説明が強く残っていたものですから、「建屋下の一部」と思っていました。4日の説明では、7号機の場合、建屋下全面「マンメイドロック」で固めていることがわかりました。

(1) 東電はこれまで「建屋は西山層」に建てたといってきました。正しくは7号機は、「西山層似の人口岩盤」に建設したと理解してよろしいですか。

(2) それにしても、なぜ、建屋下全体を「マンメイドロック」で置き換えたのですか。

① 断層があったから、削り取ったといいましたが、置き換えは建屋下全体にわたっていません。はぎ取った部分の西山層にどんな欠陥があったのですか。

② 「マンメイドロック」など置き換えずに、はぎ取った最底部を平たんにして建屋を立てることもできたと思いますが、なぜその工法を取らなかったのですか。

③ はぎ取った地盤は、西山層と同等かそれ以上の特性を持った人口岩盤にしたと言われましたが、建屋を立てる地盤は固く強固なほどよいと理解します。どうして、全面的にコンクリート岩盤にしなかったのですか。

④ 建屋の下に断層があったから、人口岩盤にしたといわれました。1号機や2号機建屋下にも断層があると聞いています。6、7号機以外では、「マンメイドロック」を使う必要がなかったわけです。建屋下は同じ西山層なの、6、7号機だけ「マンメイドロック」を使ったのですか。

2. ヨウ素フィルターの溶接不良の説明がありました。フィルターベント装置に接続された装置と理解しています。

(1) ヨウ素は水に溶けるので、フィルターベント装置で取れると思いますが、どうして改めてヨウ素フィルターが必要になるのですか。また、ヨウ素フィルターでのヨウ素回収の仕組みはどのようになっていますか。

(2) 地上式も地下式もヨウ素フィルターが2個ついています。各々役割がありますか。また、どうして気体を下方に流すのですか。

3. 7号機建屋大物搬入口保安規定変更申請の説明がありました。その中で、3ページの図に「液状化層」とありましたが、古安田層がはさまった地層ですか。さらに、非液状化層とは、西山層ではないのですか。

液状化対策として鋼管を地下に何本も打っています。地下杭が不当沈下を防止し液状化対策になっていたのではありませんか。どうして地盤改良をするのですか。大物搬入口下の地層図を示し説明してください。

● 運営委員会 に対する 要望

4日のフリートークで言い尽くせなかったので、会の運営に要望をいたします。

4日のわたくしの発言は、地域の会が「透明性を求める」使命を果たすには、十分な質問や意見が出る状態でないと申し上げました。月1回の開催で結構ですが、毎回の会合でのあり方を改善してください。「透明性を求める」ためには、事業者や当局に十分質問をすることです。今の司会者の進め方は、事業者や当局の説明の後、質問を求めますが、1人1回の発言で、時間が来ると打ち切っています。次、フリートークとなりますが、質問、意見とは関係なく各自が所感を述べるだけです。これでは、深まりません。

- ① 事業者や当局への質問を何度でもできるようにする。ただし、一人が長時間取らないように区切って、他の質問者に回す。発言者が一巡したら、質問等のある人は2度目の質問をする。
- ② フリートークは時間があつたら行うことにする。それも、全員発言させることはしない。パスもあってよい。質問時間に発言した人も、意見が言えるようにする。
- ③ 運営委員が話し合いのテーマを見つけることに苦労されていますが、委員からテーマを募集して、整理したらどうでしょうか。
- ④ 委員の任期を一期2年、最長10年で卒業とする決まりを作りましたが、議論を深めるには熟達した人が必要です。10年期限を廃止してはどうですか。

以 上